

6m&ダウンコンテスト雑感

de JA1RIZ

6&Dコンは今年も結果的に山梨県からオンエアすることになった。

当局の場合、移動地の決定はウオンテッドがある場所になることが多い。前回は韮崎市／甘利山からで、今回は長野-南佐久郡だったので「大弛峠」が境界の山梨市からに決まった。

さて、都内局へ南佐久郡川上村から 1200MHz でサービスを始めたが、相互に「ウントモストモ」状態であり、プリアンプをかませても信号が感じられない！

見通し図を調べて、これならまず大丈夫と考えていたのが大間違い！峠から都内方向には峠の近くに 100m 高程の遮へいがあったがマズ大丈夫という予見だった。現地東京方面を見ると名峰・国師岳(2592m)が立ちはだかっているではないか。1200 だからか？50MHz ではどうか？50.490 の東京ビーコンも聞こえない。ウーム、大きな間違いを犯した、と思いました。電波伝搬は最後には「現地調査」が必要な所以である。

そうだ、ダメ元で行った甘利山は多エレ八木を持参した結果、1200 でもある程度の成果があった。今度はどうだ！0 局だ、甘く見て 5 段コーリニアだった。これでは全く歯が立たない。

試しに、1200 レピータを軒並みたいてみたが、開くのは隣市の甲府の局だけ。都内の局は全く立ち上がらない。

やはり、電波伝搬は最悪条件を考えての準備がとても重要。多段ビームなら何処かの反射波を拾えたのではなかろうか…等と反省しきりであった。

50M の方は、東京ビーコンは聞こえなかったが、JA2IGY の信号が聞こえてきた。久しぶりに聴く懐かしい信号だ。2エリア方面には開け気味であるかと期待させた。

さて、肝心のコンテスト結果です。

1200 バンド…0

430 バンド…1

144 バンド…5

50 バンド…17

メインバンドとしたかった 1200MHz はかろうじて神奈川の局が入感したものの Power の差で交信に至らずであった。1Wと10Wの差はギリギリのときは厳しい!! ですね。

それに、今度の大弛峠は山道のくねくね道を30km程(当局の運転技術では1h以上)走らねばならず、とても大儀であった。バイクやサイクリング車も多く運動能力の低下した年代である当局では再チャレンジは厳しい所と悟った次第です。

1200MHz での夢は、60エレ4列×2段ほどのアンテナ群を携えて移動運用することである。これくらいのゲインがあればロケーションは二の次にして、直接波が届かない所に行っても、反射波や散乱波でウオンテッドに答えられるのではないかと。

〇〇と、時間と体力があればなァと、体たらくジジイにはタラレバの『夢』のまた『夢』です。hihi

(完)